

平成 31 年 3 月 22 日

3 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木県では天候良好で間伐事業、皆伐施業ともにフル生産が続いており、入荷量は平年を上回っている。出材の急増で安値に引きづられてスギ材の価格が下落した。製材工場からの引き合いは、まだまだ続くと見られる。ヒノキ材は全体の量が少ないこともあり、徐々に値を下げ始めた。原木価格は 3 月に入っても落ち着かない状況が続くだろう。製品の荷動きでは KD 構造材は例年どおり 2 月から全般に一服感が出ている。

群馬県でも原木の出材は順調で、価格も下落傾向にある。原木在庫は十分な状況。操業は順調だが、注文は細かい。公共工事等の受注残も減少し、先行きの仕事は薄い。首都圏の製品市場からの注文は増えているが、地場からは低調である。在庫は羽柄材が全体的に品薄であるが、構造材は増えつつある。一時、品薄だった貫、胴縁、バタ角も在庫は増え始めている。原木価格と製品価格のバランスが少しずつ取れ始めた。

2. 米材

米加産地では 2 月に降雪があり、伐採が減少。カナダ西岸部の一部サプライヤーは 2 月の生産が計画比半減したとのこと。降雪の影響で港頭在庫は減少。ウェアハウザー社の 3 月積み対日価格(推定)は前月比で IS が \$10 アップの \$870、SLC は横ばいで決着。安値を嫌った山林オーナーが伐採を絞ったところに降雪が襲い、伐採量が急減。これに反応し、米国国内価格が上昇し、これにつれて輸出価格も上昇した。産地製材品価格はランダムレングス紙発表の 15 種平均価格(3/1)は \$371/M で 2 月頭に比べ 4.8% のアップ。ディメンション材は各社とも生産調整を進め、価格の底上げを目指していたが、3 月第 2 週に入り現地価格は若干の下げとなった。米マツの第 2・四半期のオファーが各メーカーから出ているが、第 1・四半期と同水準になっている。

1 月の原木入荷量 232 千 m³ と回復。京浜・中国地方の入荷量が全体の約 8 割に及ぶ。出荷量は 210 千 m³。在庫は 189 千 m³ と徐々に増加したが、在庫率は 0.92 ヲ月と 1 ヲ月を割った状態に変化はない。昨年末の国内の大手米材製材メーカーの製材廃業により、残存の米材製材メーカーに注文が流れ、稼働は順調。1 月の東京木材埠頭の入荷は 15 千 m³ (前月比 42% 減)、出荷は 22 千 m³ (同 2.7% 減)、在庫は 53 千 m³ (同 11.9% 減)。各社とも決算を控えており、

荷動きは低調。4月以降の物件見積は出てきており、GW前の駆け込みがあるものと予想される。

3. 南洋材

サバ州の天候はそれ程悪くないが、依然原木輸出は禁止されており、伐採は低調。サラワク州も天候は悪くないため平常に近い伐採である。インド向けが好調。PNGの原木生産は比較的良好で、日本向けの集材も順調である。FOB価格は中国向けが弱い、日本、ベトナム、韓国が価格を支えている。3月予想の原木入荷、出荷量は15千 m^3 、在庫量は30千 m^3 、製材品入荷は40千 m^3 。製材品入荷の半分を占めるフリー板の市況が低迷しており、契約数量減により入荷は減少。

4. 北洋材

シベリアの主要シッパーの対日アカマツ生産量は回復の兆しが見えない。伐採林区でのカラマツ割合の増加、アカマツ原木の品質低下により上級グレードの数量が減少していることが主因。極東では原木輸出クォータ枠が改定され、原木輸出で外貨を稼ぐ形。ここ数年、大型製材工場が建設されたが、中国市場の軟化で厳しい状況。クォータ枠内でも輸出税6.5%→13%へ値上げの噂もあるが未定。現地挽完成品は上級グレードのオフア少なくて、品不足が継続。産地価格の急騰で国内価格も更なる値上げは必至。国内完成品は各メーカーとも原板在庫が減少し、注文には全て応えられない状況で、さらに値上げの可能性が高い。3月予想の原木入荷、出荷とも5千 m^3 、在庫は15千 m^3 。製品入荷(東京+川崎)は18千 m^3 、出荷19千 m^3 、在庫37千 m^3 。

5. 合板

国産材原木は東北のカラマツ、スギの引合いが強く不足感が強い。ロシア材の価格は横ばいで出材に大きな変化はない。南洋材価格は弱含みで伐採を控える所も出ている。米材価格は弱含みの状態が続いている。

1月の国内合板生産量25.8万 m^3 のうち、針葉樹合板は24.8万 m^3 となった。出荷量は27.1万 m^3 と4カ月連続で出荷量が生産量を上回り、在庫量が減少している。在庫量は13.3万 m^3 、うち構造用合板は10.5万 m^3 である。針葉樹合板は1月以上に落ち着いており停滞感が出ている。価格は極端な安値は今のところ聞こえていない。

1月合板輸入量は25.7万 m^3 で、マレーシア、インドネシアとも昨年同月より約1万 m^3 少ない輸入となった。その他の国では中国、ベトナムからの輸入が多い。産地マレーシアでは雨季の天候から一転して乾燥した天気が続いており、1月末の低水準の原木在庫の状況を脱して回復傾向。インドネシアでは

各工場の原木在庫に問題はないが、原木価格が弱いため、伐採を止めている業者もあり、不安定な状況になっている。

針葉樹合板の販売価格は配送遅れから安値の受注残はなくなり、極端な価格はなくなった。しかし荷動きに停滞感があること、大手問屋の展示会を控えていることから、少し弱含みの傾向になっていくと見られる。輸入合板は先行き不透明感が強く、安値が散見されることも予想される。

6. 構造用集成材

ラミナの入港は順調である。第2・四半期の交渉が始まっている。輸入材価格が下げ基調のため、ラミナ価格の下げ交渉を実施しているが難航。国内集成材メーカーの受注はPC工場の在庫調整のため足踏み状況。荷動きは弱い、先行き3月末～4月頭、GWにかけて増加の見込み。RW梁の価格は61,000円/m³で前月比1,000円安。WW柱は1,900～1,920円/本と強保合い。WW管柱の輸入量は増加で引き合いは依然強い。円高により先安感が出ており、輸入RW梁は5万円台のオファーも出てきている。

7. 木材チップ

FITのバイオマス比率の制度改革による原木の囲い込みが厳しくなっており、バイオマス発電用に大きな流れが出来ている。解体材の出荷が少ないため、大幅な余剰感があり、各社とも操業のやり繰りに苦慮している。製紙用の国内針葉樹チップは各社とも増集荷基調で推移。燃料用チップは暖冬の影響で製紙・バイオマス発電とも使用量が大幅に減少。燃料用チップは各社とも在庫が非常に多く、受入制限の工場も多い。

8. 市売問屋

東北地方もここに来て少し暖かくなり、製材も進んでいる模様。4月末からの大型連休を見越して大手の小売業、ホームセンターからの大量注文が入っており、製品市場では品不足になりそうである。3月に少しは製品が市場に入荷すると思われるが、製材工場の原木不足は続きそうである。

9. 小売

一部品目に品薄感はあるが、比較的安定している。荷動きも一服感はあるものの大きな落ち込みは見られない。東北のスギ材入荷が少なく強含み。ヒノキ材は近県材、西日本材とも比較的安定しており保合い。欧州材は依然として品薄感があり、値上げ基調であるが、これ以上の値上げを通すのは難しい。ロシア材は入荷が少なく、上級材、3m材にタイト感が強く、強含み。合板の荷動きは落ち着いており、価格は保合い。

参考資料

(一財)日本木材総合情報センター

平成31年3月22日

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	→	→	→
南洋材	丸太	↘	→	↘
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸 入 量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形 状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m)2等	→
			スギ中丸太(3.65m)2等	→
			ヒノキ柱材(3m)2等	→
			ヒノキ中丸太(4m)2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角(KD)10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角(KD)12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ間柱(KD)10.5×3.0×3m 特等	→
			スギ加工板1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×3.65m	→
			ヒノキ柱角(KD)10.5×10.5×3m 特等	→
ヒノキ柱角(KD)12.0×12.0×3m 特等	→			
ヒノキ土台角12.0×12.0×4m 特等	→			
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	→
		国内卸売価格 (京浜・オトラ)	米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↘
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	→
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	↘	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	↗
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	↗
		東京・問屋店頭 渡し価格	同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オトラ)	アカマツ(KD)30×40上級	↗
			アカマツ(KD)16×40上級	↗
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↘
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↘
			型枠 12.0mm厚 3×6	↘
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→